

盲ろう者向け通訳・介助員派遣について

「盲ろう者」ってなに？

「盲ろう者」とは、有名なヘレン・ケラーのように目と耳の両方に障害を併せ持つ人のことをいいます。

盲ろう者はその2つの障害を持っているがゆえにひとりで移動、情報入手、コミュニケーションを行うことが困難です。また、全く見えないきこえない人もいれば、少し見えて少しきこえる人もいます。その障害の程度はまちまちです。

コミュニケーション方法も、その障害の程度や生まれ育った環境により、手話や点字をベースにした「触手話」や「指点字」、手のひらに文字を書く「手の平書き」など様々です。



「盲ろう者向け通訳・介助員」ってなに？

上記のように多様な盲ろう者を支援しているのが、「盲ろう者向け通訳・介助員」です。下表の3つの困難に対して、聴覚だけでなく視覚的な支援もし、盲ろう者の自己決定、社会参加を可能にする重要な役割を担っています。

盲ろう者の困難	通訳・介助員の支援	例
移動	歩行介助	目的地まで、徒歩・公共交通機関などを利用して安全に移動できるように同行する。
情報入手	情報提供	郵便物の代読、店の商品の場所・値段等、目に見える情報。雷の音や放送等、聞こえる情報を伝える。
コミュニケーション	通訳	知人・友人との会話、講演会等の場面で、弱視手話や触手話・音声・手の平書きなどの方法で通訳する。

